

熊本県熊本地方の震度7地震（余震継続）に伴う対応状況

平成28年5月2日15時00分現在
岩手県総務部総合防災室 防災危機管理担当
電話 019(629)5155、5156

平成28年4月14日21時26分頃に熊本県熊本地方に震度7の地震が発生した後も、震度6強等の余震が継続していることから、4月16日4時30分に「平成28年熊本地震に係る岩手県情報連絡室」を設置、同日19時00分に岩手県応援本部に移行し、情報収集等を行っていますが、5月2日15時00分現在の対応状況についてお知らせします。

1 地震の発生状況（主なもの）

4月14日21時26分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生
4月16日01時25分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生
01時44分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
01時46分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度6弱の地震が発生
03時03分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
03時55分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度6強の地震が発生
07時11分頃	大分県中部地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
07時27分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
09時51分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度6弱の地震が発生
16時02分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
4月18日20時42分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
4月19日17時52分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
20時47分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
<u>4月29日15時09分頃</u>	<u>大分県中部地方を震源とする最大震度5強の地震が発生</u>

2 被害状況（5月2日11時30分現在 消防庁調べ）

(1) 人的被害

死者66名、重傷者349名、軽傷者1,221名

(2) 物的被害

【住家】

全壊2,252棟、半壊2,763棟、一部損壊16,271棟

【非住家】

公共建物94棟、その他354棟

(3) 火災

16件

3 全国知事会の対応

(1) 全国知事会災害対策都道府県連絡本部は、知事会現地連絡本部を熊本県庁に設置し

た。(派遣員数4名)

- (2) 全国知事会は、大分県等と連携しながら、引き続き情報共有に努めるとともに、各都道府県に対し、知事会の対応状況等を連絡することとしている。
- (3) 全国知事会は、被災市町村と支援県によるカウンターパート方式による支援を決定。
- (4) 熊本県への救護班の派遣について、36班の派遣を決定。
- (5) 4月24日現在、熊本県に向け岩手県など27道府県の救護班が出発。
- (6) 全国知事会では南阿蘇村への人的支援を行っている。派遣延べ人数は157人(予定含む)。
- (7) 4月25日、全国知事会から救護班に対する派遣期間の延長要請あり。

4 本県の対応状況

- | | |
|--------------|---|
| 4月16日 04時30分 | 岩手県情報連絡室を設置 |
| 16時03分 | 厚生労働省から県に対してDMATの派遣要請あり。
本県からは、医大および胆沢病院から各1隊派遣。 |
| 19時00分 | 岩手県応援本部設置 |
| 21時09分 | 熊本県菊池市(遠野市の姉妹都市)から物資支援要請(※)が遠野市にあり、運搬手段をトラック協会に調整(トラック2台を確保済)
※物資 遠野市準備:水20×1,000本 ブルーシート500枚
岩手県準備:水20×4,000本 |
| 4月17日 02時35分 | 本県からのDMATが、大分県竹田市医師会病院へ到着(9時頃から活動内容の調整) |
| 08時10分 | 菊池市からの物資支援要請にもとづき、県備蓄倉庫(北上市)で物資(水)を積載してトラック1台が菊池市に向けて出発。 |
| 09時15分 | 菊池市からの物資支援要請にもとづき、遠野市で物資(水等)を積載してトラック1台が菊池市に向けて出発。 |
| 4月18日 23時00分 | 遠野市から出発したトラックは、菊池市体育館に支援物資を降ろした。 |
| 4月19日 09時00分 | 北上市から出発したトラックは、菊池市体育館に支援物資を降ろした。 |
| 15時00分 | 災害廃棄物関係の事務処理等を支援するため、熊本県からの要請を受け、環境担当技監、防災消防課長ほか1名を4月20日から24日まで熊本県に派遣することを決定。 |
| 18時00分 | 熊本県教育庁から宮古水産高校を通じて支援物資の要請があったことから、県教委及び宮古市は支援物資を提供。(19日18時宮古水産高校のりあす丸が救援物資を積載し、宮古港を出港。21日、東京ビッグサイト側多目的埠頭で、熊本県立荅洋高校の熊本丸に積み込み予定。) |
| 4月20日 10時00分 | 災害廃棄物関係の事務処理等の支援要員として環境担当技監、防災消防課長等3名が熊本県庁へ向け出発。 |
| 16時00分 | 県職員への救援募金の呼びかけを決定。(実施期間:4月22日(金)~5月20日(金)) |
| 17時45分 | 本県の災害廃棄物等の処理支援要員3名が福岡市に到着し、 |

		本県及び熊本県の福岡事務所で調整。
4月21日	11時15分	全国知事会からの要請に基づき(36班うちの1コ班)、医療救護チーム第1班として4月21日から27日まで、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員1名の計5名を県立中央病院から、熊本県内の避難所、救護所等へ派遣。
	11時20分	県の災害廃棄物等の処理支援要員3名が、熊本県庁に到着し業務を開始。
	14時00分	阿蘇市へ10tトラック2台分の物資を輸送開始。 到着予定 4月23日(土)夕方
4月22日	7時30分	県立中央病院から派遣の医療救護班は、熊本市内に到着し、避難所等において情報収集中。
	9時50分	建築物応急危険度判定士(建築住宅営繕課長以下12名)が出発。(活動期間4月23日(土)~4月25日(月)及び4月26日(火)~4月28日(木))
	18時00分	ICAT(いわて感染制御支援チーム)が出発。
4月23日	11時40分	10tトラック2台分の物資が阿蘇市へ到着(積み下ろし完了)医療救護本部支援要員を1名追加派遣(4月23日(土)~4月29日(金))
	午後	ICAT(いわて感染制御支援チーム)が熊本県に入り、活動開始。
4月24日	8時50分	応急仮設住宅整備業務の支援のため、本県職員2名が熊本県へ向け出発。(活動期間4月25日(月)から2週間程度)
	14時15分	災害廃棄物関係の事務処理等支援要員として支援していた環境担当技監、防災消防課長ほか1名が帰庁。
4月25日	9時00分	熊本県教育庁からの支援物資要請により、宮古水産高校のりあす丸から、熊本県立苓洋高校の熊本丸に積み替えした支援物資は、熊本県三角漁港に着岸し、積み荷を降ろして避難所への仕分けを実施。
	14時30分	ICAT(いわて感染制御支援チーム)が帰庁。
4月26日	8時00分	全国知事会からの要請に基づき、県立中部病院から医師2名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員1名の計6名が出発。(派遣活動期間4月27日(水)~5月1日(日))
4月27日		4月27日~5月4日までの間、岩手医科大学の精神科医等9名を熊本県へ派遣。(4月29日~5月2日まで活動。)
	15時00分	県立中央病院医療救護チームの5名帰還。
4月28日	8時00分	熊本県からの要請に基づき、「災害派遣福祉チーム」社会福祉士、介護福祉士等の福祉専門職の計4名が熊本県に向け出発。(派遣活動期間4月28日(木)~5月1日(日))
4月28日	午後	熊本県からの要請に基づき、県営住宅35戸を無償提供することを県公式ホームページで周知開始。
<u>5月1日</u>		<u>全国知事会からの要請に基づき、県立磐井病院医療救護チームとして医師2名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員1名の計6名が出発。(派遣活動期間5月1日(日)~5月7日(土))</u>

災害派遣福祉チームが帰還。

5月2日

県立中部病院医療救護チーム6名が帰還。

5 各機関・団体の対応状況

(1) 本県ICAT(いわて感染制御チーム)の活動状況(前回報告から変更なし)

4月18日、日本環境感染学会から本県のICATに対して、避難所の衛生管理状況を把握するため派遣要請があり、4月22日から25日までの間、医療関係者3名を派遣。4月25日帰庁。

(2) 日本赤十字社岩手県支部の活動状況

ア 4月20日、熊本県益城町保健センター臨時救護所において救護活動を開始。

4月23日まで活動を行い、4月24日17時帰還。

イ 4月25日、日本赤十字社から医師の派遣要請があり、1名を熊本赤十字病院へ派遣。(派遣期間4月25日(月)～4月30日(土)、帰還予定5月1日(日))

ウ 5月1日、医療救護班1班(7人編成)が出動し、益城町保健センターを拠点とし、活動中(避難所を巡回)。

(派遣期間5月2日(月)～5月5日(木)、帰還予定5月6日(金))

エ 5月1日、看護師1名を熊本赤十字病院に派遣し、活動中。

(派遣期間5月1日(日)～5月5日(木)、帰還予定5月6日(金))

(3) DMA T(災害派遣医療チーム)の活動状況(前回報告から変更なし)

岩手医大チーム(4月17日～4月18日)と胆沢病院チーム(4月17日～4月19日)は活動を終了し、本県へ帰還。

(4) 医療救護本部支援の活動状況

4月21日～24日までの間、岩手医科大附属病院から2名を熊本県災害対策本部へ派遣し、4月24日(日)夕方帰還。

更に4月23日(土)～4月29日(金)の間、岩手医科大学付属病院から1名を熊本県災害対策本部へ追加派遣し、4月29日(金)帰還。

(5) 医療救護チームの活動状況

ア 4月21日～27日までの間、県立中央病院から5名を熊本県内の避難所等へ派遣。4月27日帰還。

イ 4月26日～5月2日までの間、県立中部病院から6名を同様に派遣。

4月27日から5月1日まで熊本市内での活動を終了し、5月2日(月)帰還。

ウ 5月1日～5月7日までの間、県立磐井病院から5名を派遣。

5月2日から熊本市内で活動中。

(6) DPAT(災害派遣精神医療チーム)の活動状況

4月27日～5月4日までの間、DPATに準じたチームとして岩手医科大学の精神科医等9名を熊本県へ派遣。(4月29日～5月2日まで活動。)

(7) 岩手競馬組合の取組状況

5月1日～5月4日の盛岡第1回前半レースの一部について、売上金の一部を義援

金とする「被災者支援競争」として実施中。

(8) 災害派遣福祉チームの活動状況

ア 4月28日(木)～5月1日(日)までの間、社会福祉士、介護福祉士等の福祉専門職の計4名を熊本県へ派遣。5月1日(日)帰還。

イ 5月1日(日)から5月6日(金)までの間、第2班計5名を熊本県に派遣。

ウ 5月5日(木)から5月10日(火)までの間、第3班計5名を熊本県に派遣予定。

(9) 岩手県薬剤師会の活動状況

ア 5月2日(月)～5月6日(金)までの間、薬剤師3名(うち1名は5月5日(木)まで)は、熊本空港で活動中。

イ 5月6日(金)～5月10日(火)までの間、薬剤師2名を熊本空港に派遣予定。

(10) 岩手県立大学の活動状況

熊本県南阿蘇村の福祉救援ボランティアセンターの運営支援及び今後の支援に当たっての事前調査のため、社会福祉学部教員1名及び学生1名を、4月28日(木)～5月5日(木)までの予定で派遣。